

## 総合計画策定推進本部 第8回本部会議 会議概要

### 【開催概要】

日 時 令和5年2月7日(火)午前9時35分～

会 場 市役所本館3階 対策本部会議室

出席者 本部長・副本部長・本部員 ほか

### 【会議概要】

#### ■本部長指示(中原市長)

- 次期総合計画について、市民の皆さまの意見を聞きながら策定を進め、昨年12月議会において、全会一致での可決をいただくことができました。これまで策定作業にご尽力いただいた皆さんに感謝する。
- 計画の策定には一区切りがしたが、ここからが新たなスタートである。
- 新たな総合計画について、これから市民の皆さまに向けて広報を進めていくが、政策企画部長の話にもあったように、まずは職員が理解していなければならない。幹部職員はもちろんのこと、そのほかの職員も、市民の皆さまにしっかり説明できるようにしてほしい。
- 議案採決の際に市議会からも意見があったように、成果指標は市民の皆さまとの約束である。市が自ら掲げた目標であるので、達成に向けて責任感をもって、私と共に全力で取り組んでもらいたい。
- 大きな目標を達成するためには、組織横断の連携・協力が必要である。そのこともあって、今回は「目指す都市像」を一つに絞った。時代は激しく変化し、時に逆風が吹くこともあると思うが、職員はみんな同じ山を登る仲間だと思って、助け合って励まし合いながら、新潟市の明るい未来に向けて一緒に頑張っていこう。

#### ■議 事

<次第に基づき事務局(政策調整課長)より説明>

- 次期総合計画「新潟市総合計画 2030」の推進にかかる今後の日程等について共有する。
- 来週、実施計画案及び新年度予算案を公表し、総合計画の概要とそれに沿って編成された新年度予算案について説明する。
- 3月上旬に「市報にいがた」に総合計画の特集記事を掲載する。3月下旬に計画本体の冊子とその概要をコンパクトにまとめたリーフレットが出来上がる予定であり、それらの設置・配布とタイミングを合わせて、新聞広告の掲載や市民向け動画の公開、市公式LINEなどウェブでの広報を行う。
- 4月以降も「市長とすまいるトーク」や「市政さわやかトーク宅配便」などの機会を捉えて市民向け周知を進めていく予定。市民向け広報を進めることで、今後、各部区に対しても総合計画や区ビジョンの内容に関連した問い合わせが来る可能性があるためしっかり説明できるよう準備をお願いする。

- 先日より、多くの職員の皆さんから総合計画研修を実施いただいた。ご協力に感謝申し上げます。
- これからは、少子化対策など「人口減少を和らげること」に加えて、公共施設の再編や労働力不足を補うデジタル化の促進など「人口減少社会に適応すること」の両方を念頭に施策を展開していくことが重要である。人口減少への対応は本市の最重要課題となるため、あらためて職員の皆さんから理解を深めていただくようお願いしたい。

<政策企画部長より発言>

- 私から皆さま方をお願いしたい。今ほど説明があったように総合計画の市民向け広報を進めていくが、まずは市職員が理解することが重要だと考えている。
- 先日、すべての職員を対象とした研修を行ったところであるが、特に管理職の皆さんにおかれては、この総合計画について自分で説明できるレベルまで理解を深めてもらい、各部あるいは各課のなかで目的意識を共有いただきたい。
- 今回の総合計画のポイントになるのが成果指標である。この成果指標の進捗状況をもとに、今後、市民の皆さまから市政運営の評価を受けることになる。また、予算や人員など経営資源の適正配分という点でも、「成果指標の達成にどう寄与するのか」という観点から、事務事業の見直しや重点事業の提案をしていただくことになる。
- 市議会総合計画特別委員会において各部長から説明してもらったように、成果指標はそれぞれ現状の延長線よりも一段上の目標を掲げており、現状のままでは達成できない。そのような高い目標を達成するためには、関わる全ての職員が共通の目的意識をもって業務にあたることが欠かせないと考えている。
- そのためには、総合計画について、「新潟市はどのような都市像や目標を掲げているのか」、「それを実現するためにどのようなことを重点的に取り組むのか」、そして「そのなかで自分たちの部署はどのような役割を担うのか」、そのような計画のポイントや自分たちが担う役割について、まずは管理職の皆さんが部下の皆さんを相手に語れるようになってもらい、その上で新年度を迎えられると、この総合計画がスムーズにスタートできると思っている。
- 総合計画の推進に向けて、引き続きご協力をお願いする。